

⑨ 高等学校	<b>オンライン(Zoom)でのがん教育</b>		
対 象 者	高校1・2年生	派 遣 時 間	50分
外 部 講 師	がん拠点病院 看護師		
対象者及び参加人数	1児童生徒( 624 )名 3関係機関[ 病院関係者 ]( 3 )名 2教職員( 36 )名 [ 県教育委員会]( 1 )名		
設 定 場 面	総合的な探究の時間 (健康教育講座)		
ね ら い	「がん教育を通して、がんについて正しく理解すると同時に、自他の健康と命の大切さについて主体的に考え、行動できる生徒の育成を目的とする」教科保健で学習した内容を強化できる。		
実 施 内 容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <p>1 事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン接続の機材の準備。タブレットの準備。</li> <li>・校内ネットワーク担当の先生と調整し、オンライン実施の可否・機材の有無を確認。また、事前にネットワークの接続テストを実施。</li> <li>・当日、各HRIにて機材を設定するため、接続方法・パソコン操作の確認を正副担任へ伝達。</li> </ul> <p>2 講師の先生との打ち合わせ</p> <p>(1)病院にて 講師及び病院関係者と講義方法・当日の内容について確認。</p> <p>(2)オンラインにて 講師とオンラインで打ち合わせを実施。校内ネットワーク担当の教員も同席し、当日の流れ、教室での表示方法、質疑応答の際の切り替えなど、パソコンの操作やパワーポイント、音声のずれについての確認を行う。当日も講義前に、前回オンラインでの打ち合わせ以降に変更になった箇所の確認。接続状況の確認。</p> <p>【当日の概要】</p> <p>オンライン形式にて実施。講師は病院から講義。生徒は各教室にて受講。生徒保健委員が司会進行を行う。講義後質疑応答の時間を設け、終了。</p> <p>内容は、「がんという病気」「がんの予防」「がんの治療で大切なこと」の3項目を中心に講話をいただいた。講義の途中に生徒へのクイズを取り入れ、相互にコミュニケーションを取るなど、がんについて理解を深める充実した講座であった。</p>		
成 果 ・ 感 想	<p>【成果】</p> <p>事前事後アンケートより、意識の変化がみられた。特に、がん教育の必要性については、95%の生徒が「そう思う」と感じたようだ。また、「がんは日本人の死因の第2位である。」との回答では、事前では「誤り」と回答した生徒が39.9%であったが事後では78.5%に増加、「自分にはがんにならないと思う。」では、「そう思わない」が39.3%から60.3%へ増加、「がんになっても生活の質を高めることができる。」では、「そう思う」が34.7%から56.9%へと増加し、がんについての正しい知識を得られた。その他にも、「健康な体づくりに取り組もうと思う」では、「そう思う」が62.8%から85.2%へ、「検診を受けようと思う。」では、「そう思う」が60.3%から86.6%へと増加し、がんに対する自身の健康管理に対する行動変容の意識付けにもなったと感じた。</p> <p>課題としては、アンケート結果より、全体的な意識の向上がみられた一方、間違った知識や理解不足があるため、今後知識の定着を図る機会の必要性を感じる。</p> <p>【感想・写真等】</p> <p>生徒の感想では、「保護者にも検診を受けるよう伝えたい」「自分も検診を受けようと思う」「子宮頸がんワクチンの必要性を知った」「がん患者には多くの職種の人に関わり、体だけではなく心のサポートもしていることを初めて知った」「緩和ケアを初めて知った・自分にはがんにならないと思っていたが、がんになる原因が遺伝だけでなく、不明なものや感染によるものだと知って気を付けようと思った」「がんに対する不安が和らいだ」「正しい知識をもち、正しい行動の選択をしたい」など、がんに対する知識が深まり、健康に対する意識やがん治療について、前向きに捉える生徒が多くみられた。また、「医療職をめざしているので現場を知れてよかった」など、職に関しての肯定的なイメージが強まった印象を受けた。</p> <p>初めてのオンライン形式での講話であり、当日の回線状況で十分な講義が聞けなかったクラスがあったが放送で流れた音声から内容を理解し、感想をしっかりと書いていた。また、講師の先生はとても好意的であり、打ち合わせ段階でも、現場と高校生との意識の格差がないように、丁寧に学校の意見をくみ取っていただいた。生徒の身近な人にごがん患者さんがいるという状況についても、細かな配慮をしていただいた。現場で働く専門家からの講義は、やはり具体的に説得力があり、とても有意義な時間となった。</p>		
今後の取組予定	「がん教育」も含め、今後も生徒が健康に対する理解を深め、自らの健康管理ができる力の習得、さらには、社会に貢献できる人材となるような健康教育講座を実施する。		